

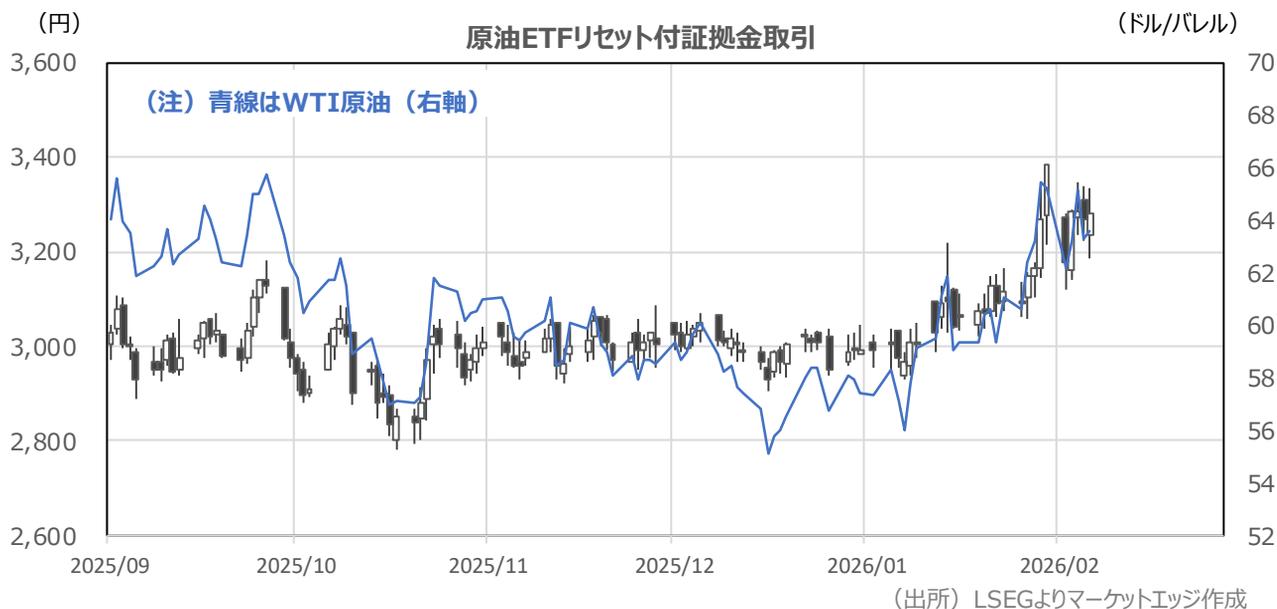
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/02/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## イラン情勢の見極めでボックス相場に

NY原油先物相場は、1バレル=61.00~65.50ドル水準をコアに売買が交錯する展開になった。イラン情勢の緊迫化で1月29日には66.48ドルまで値上がりしていたが、2月6日に米国とイランの高官級協議が設定されると様子見ムードが強まり、明確な方向性を打ち出せなかった。その6日の協議についてトランプ米大統領は、「とても良い会談だった」としたうえで、「来週の早い時期」に再びイランと協議を行うことを明らかにした。協議内容の詳細は明らかにされておらず、両国の主張についての意見交換が中心だったもようだが、交渉を続けることについては合意されている。

マーケットが警戒しているのは、米軍がイラン核関連施設への攻撃など、軍事力行使に踏み切る展開だ。その際には、イランが中東の米軍基地に反撃を行い、イランのみならず中東全体の地政学環境が急変する可能性もある。現状では、まだそのリスクが払拭できていないが、一方で外交交渉が行われている間は、軍事力行使は見送られるとの楽観ムードもある。その結果、売買が交錯する展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月30日時点）は、原油が前週比346万バレル減、ガソリンが69万バレル増、石油精製品が555万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## イラン情勢の見極めで売買交錯、IEA月報とドル相場にも注目

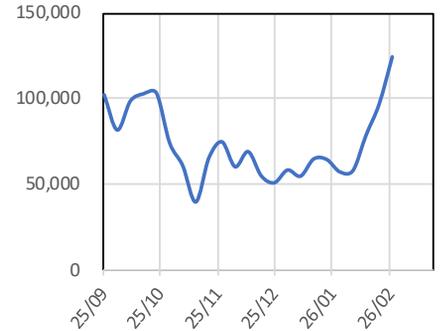
今週もイラン情勢の見極めが中心テーマとなり、前週に続いて不規則な値動きが続きやすい。トランプ米大統領によれば今週、米国とイランの再協議が行われる見通しになっている。両国間の協議が継続されている間は、米軍がイラン核施設の攻撃に踏み切る可能性は低く、直近高値（66.48ドル）を大きく上抜くリスクは限定的だろう。一方、2回目の協議が行われたとして、イランの核・ミサイル開発の問題が一気に終息に向かう見通しにはなく、60ドルを大きく割り込むようなリスクも限定されよう。短期的な軍事紛争のリスク軽減でやや調整安のリスクが高まりやすい地合が想定されるが、一方的な展開にはならない見通しだ。

もちろん、協議が決裂する可能性が高まり、米軍のイラン攻撃が現実的な脅威に発展した場合には、急伸する可能性がある。ただし、昨年6月の経験からも米軍が中東で本格的な軍事行動を引き起こす可能性は低く、一時的な上昇リスクの有無を探る展開になろう。

需給面では、2月11日に石油輸出国機構（OPEC）、12日に国際エネルギー機関（IEA）が月報を発表する予定だ。いずれも2026年の需給緩和見通しを再確認する内容になる見通しであり、地政学リスク関連の動きがみられない場合には、需給緩和見通しの織り込みが相場を下押しする可能性がある。

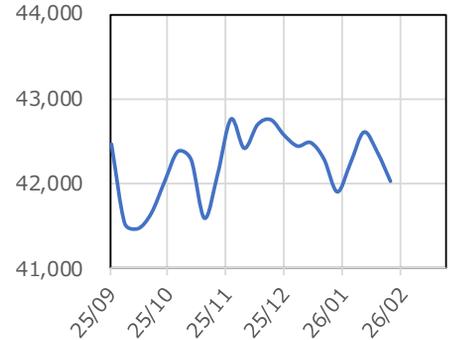
また、2月11日に1月米雇用統計、そして13日に1月米消費者物価指数の発表が予定されている。米金融政策見通しに与える影響も大きい指標だけに、ドル相場の反応にも注目したい。前週はドルが堅調に推移したことが、ドル建て原油相場の上値を圧迫する展開になっていた。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



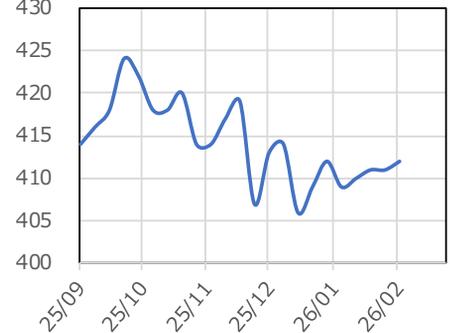
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

